

# 性的マイノリティなど多様な性への理解促進に関する大仙市の取組

## 多様な性のあり方

いわゆる性的マイノリティ（LGBT等）の方は、幼少期から自身の性のあり方や他人との違いに違和感を感じ始めると言われています。また、周囲の理解不足や偏見等により、社会の中で様々な不安や困難、生きづらさを抱えていると言われています。

## 4つの性

人は出生時に身体的特徴などから男女を判別し、性別が決められますが、身体の性だけでその人を表すことはできません。身体の性だけではない、その人自身の性のあり方をセクシュアリティといい、次の4つがあり、人によって様々です。

これら4つの性の組み合わせに「決まり」はなく、4つはそれぞれ独立した要素です。これらの性の組み合わせの多様性を指し、「多様な性のあり方」と言います。

また、「生物学的性と性自認が同じで、性的指向が異性に向いている」という、いわゆる「典型的」な組み合わせと異なる人たちのことを、性的マイノリティ（性的少数者）と呼ぶことがあります。

性の種類	説明
身体の性	身体的特徴（外性器や染色体等）に基づき、出生時に割り当てられる性。男性型、女性型だけでなく、見た目などが典型的でなく区別がつきにくい場合もある。
心の性	自分が認識する性。男性、女性のどちらかだけでなく、どちらでもある、どちらでもない、わからないと感じる人や、揺れ動く人もいる。
社会的な性	服装やしぐさ、口調などにより、外部に表現したい性。
好きになる性	恋愛・性愛の対象とする相手の（自認する）性。性自認に対して、異性、同性、両性、どちらでもない、関係ない、などがある。

## 大仙市の取組

大仙市では、これまで、性的少数者への偏見や差別意識の解消に向けたLGBTに関する記事の掲示や関連図書コーナーの設置、多様な性や人権を考えるきっかけとなる人権啓発セミナーの開催など、性的少数者に対する理解の促進に取り組んできました。

「第3次男女共同参画プラン」では、主な取り組みの一つに「性的マイノリティ等の多様な性への理解促進」を掲げており、啓発や情報発信の強化などを通じ性的マイノリティに対する理解の浸透を図りながら、多様性を尊重し、認め合い、誰もがありのままの自分らしく暮らすことができる社会の実現に取り組んでいきます。

## LGBTとSOGI

**LGBT**とは、Lesbian（レズビアン＝女性同性愛者）、Gay（ゲイ＝男性同性愛者）、Bisexual（バイセクシュアル＝両性愛者）、Transgender（トランスジェンダー＝生物学的性と性自認の同一性に違和感を感じる人）の頭文字をとった言葉で、性的マイノリティの総称として多く使用されています。

しかし、それ以外にもX-gender（エックスジェンダー＝性自認が男性・女性のどちらでもある、どちらでもない、場合によって変わるとしている人）、Asexual（アセクシュアル＝性的指向が他人に向いていない人）、Pansexual（パンセクシュアル＝相手の性のあり方を条件としない）、Questioning（クエスチョニング＝性自認や性的指向を決めていない、わからない、模索している人）など、性のあり方はLGBTの4つだけでは表しきれない多様なものとなります。

また、いわゆる典型的とされる性のあり方についてはCisgender（シスジェンダー＝生物学的性と性自認が一致する人）、Heterosexual（ヘテロセクシュアル＝異性愛者）と呼ばれています。

**SOGI**とは、性的指向（Sexual-Orientation）と性自認（Gender-Identity）の頭文字を組み合わせた用語です。

SOGI（性的指向・性自認）はすべての人が持っている要素であり、すべての人の多様な性のあり方が保障されるべきという考えに基づいた言葉です。